

従業員との関わり

自己実現と成長を促すような公正な評価と処遇、多様な人材が安心して働ける職場づくりに取り組んでいます。

労働災害防止への取り組み

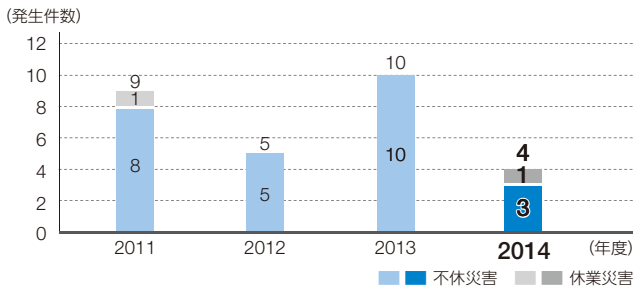
当社の生産拠点である那須事業所と小牧事業所では、職場環境に潜在する危険性や有害性を特定し、それらを除去あるいは低減するための措置を検討し、労働災害を未然に防止するリスクアセスメント活動を実施しています。

また、それぞれの事業所では環境品質保証部が毎月発行する「環境安全衛生ニュース」によって、労働災害状況の情報を提供しているほか、「標準製造作業要領書」の活用などで、安全に関する社内教育をすすめ、災害防止に努めています。

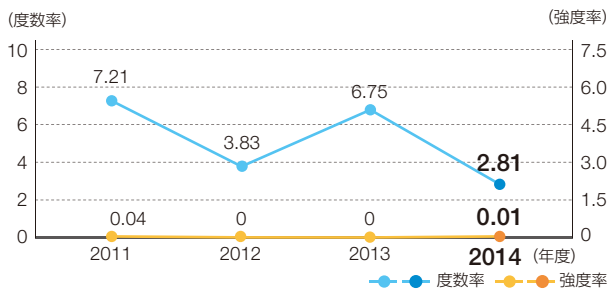
2014年度は、那須事業所・小牧事業所と併せグループ会社においても、経営幹部・労働組合・環境品質保証部による環境・安全パトロールを実施し、適切な改善指導を行い、職場環境の改善につなげています。

労働災害件数は昨年よりも減少しましたが、休業災害1件、不休災害3件発生しました。長期疾病発生率も昨年よりも低下しましたが、昨シーズンのインフルエンザの流行の影響もあり、発生率は5.25%になりました。

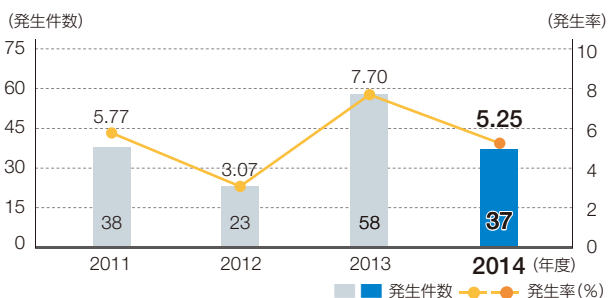
労働災害発生件数



労働災害発生度数率・強度率



長期疾病発生件数



静電気対策の実施

塗料は有機溶剤を含んでいるため、静電気による発火や火災事故の危険があります。当社では静電気による災害事故を防ぐため、各事業所でさまざまな静電気対策を実施しています。

那須事業所では2014年4月に「静電気セミナー」を実施しました。これは主に新入社員を対象としたものですが、静電気の発生メカニズム、その予防策をわかりやすく解説しました。

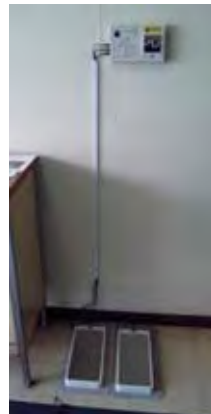
また、同事業所では人体に留まりやすい静電気を地面へ流して除去する静電靴を使用していますが、2015年3月にその機能が有効に発揮されているかどうかを判定する静電靴チェッカーを設置して、除去対策に万全を図っています。

小牧事業所でも同時期に静電靴チェッカーを設置したほか、工場建屋へ入る際に握ってアースと同様の役割を果たす除電棒を活用しています。

両事業所とも静電気発生防止として湿度管理を実施し工場内の散水を定期的に行うなど、徹底した静電気対策に取り組んでいます。



セミナー講習会風景



静電靴チェッカー設置



除電棒の設置

防災訓練の実施

大阪事業所・那須事業所および小牧事業所において、2014年9月に防災訓練を実施しました。3事業所とも大地震を想定した避難訓練、人命救急訓練(AED取り扱い説明)や消火訓練などを行いました。

那須事業所・小牧事業所では防災訓練だけでなく、消火訓練、遮断訓練、漏洩訓練などを実施しており、緊急事態に即応できる体制づくりに取り組んでいます。

また、小牧事業所では二酸化炭素消火器を用いた消火訓練を実施しました。二酸化炭素消火器は、薬剤噴霧による消火後の汚損が少なく、精密機器に降り掛かっても故障しないのが特長です。

今後も安全・災害防止につながる活動を積極的に取り組んでいきます。



大阪事業所の防災訓練



小牧事業所の二酸化炭素消火器訓練



那須事業所の防災訓練



小牧事業所のAED取り扱い講習会

TOPICS

地震対応型防災訓練の実施

2014年12月、当社のグループ会社であるシンロイヒ株式会社は、管轄消防署、防災委託企業の協力のもと、地震後に火災が発生したことを想定した地震対応型防災訓練を実施しました。

同社は7階建ての工場を有し、地震発生時には地上と比べ大きく揺れることから、今回の訓練では地震発生後、身を守るための安全な場所での待機、自衛消防隊による消防署への通報、並びに事業所内への緊急放送、消火器班・消火栓班による消火訓練を実施しました。

万一の備えとして、周辺地域への被害最小化、従業員の安全確保のため、定期的な訓練を実施しています。



消火訓練

従業員との関わり

環境・安全パトロール

中央環境安全衛生委員会では、災害の発生防止を目的とした環境・安全パトロールを実施しています。

重点課題には工場内で日常的に発生する可能性の高い「はさまれ・巻き込まれ・突起物対策」を設定し、継続した改善指導を行っています。

また、化学物質を取り扱う企業として従業員の「健康被害の防止」も特に重視し、現場の現状把握を通じて災害の発生防止に取り組んでいます。

2014年度の重点項目

- ① はさまれ・巻き込まれ・突起物対策の実施状況(災害防止)
- ② 静電気対策の実施状況(火災防止)
- ③ 容器の蓋閉め・粉塵の飛散防止・漏出防止対策の実施状況(環境対策)
- ④ 保護具・局所排気装置・衛生設備の点検、5Sの実施状況(職場環境)
- ⑤ 労働安全衛生法関連の法令や消防法などの遵守状況(法令遵守)

改善フォローの内容と件数

(件)

項目	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
はさまれ・巻き込まれ・突起物対策	10	28	28	19
静電気対策	1	2	1	5
環境影響対策	1	7	4	10
健康被害の防止	0	2	9	13
5S関連	11	14	26	25
その他	10	7	19	18
合計	33	60	87	90

5S：整理・整頓・清潔・清掃・躰

技術大賞発表大会

2014年11月、第7回技術大賞発表大会が開催されました。本大会は平成20年より毎年開催されており、当社の技術レベルを大きく高めた研究開発、あるいは優れた基盤技術を確立した研究技術を選定し、表彰を行っています。

本大会は、日頃の技術活動のPRだけでなく、研究・開発活動における情報や意見を得る貴重な機会となっています。



表彰風景

社内認定制度

当社は、調色技術の育成・向上を目的とした「調色士資格制度」を実施しています。

この資格は、塗料概論、調色、品質、安全・防災、原価管理・工程管理などの塗料全般の知識が必要な学科試験と各種塗料の色を合わせる調色技能が必要な実技試験で構成されています。

調色士試験は年1回行われ、2014年度も2月に全国8会場で実施されました。

試験合格者は3年間社内資格認定され、関係会社を含めた今年度の調色士資格認定者は286名に達しています。

社内資格認定制度の環境を整え、従業員のスキルアップにつなげています。



調色士実技試験風景